

2016(平成28)年度 学校関係者評価

星翔高等学校

分類	学校関係者評価委員の評価と提言
学習指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・ベル着については当たり前のことであるにも関わらず、これを徹底するといった内容になっているが、生徒は教室に入り、先生は各教室に入り授業を始める。これだけのことをなぜ徹底できていないのか不思議である。年間にしたら時間のロスがかなりあるのではないかと。教員の意識の問題ではないか。 ・個別指導が十分に行われていると感じる。各担当者、担任による個別の指導が功を奏していると思う。教員による個別対応は重要である。本校の個別指導体制は十分になされている。今後も継続してもらいたい。 ・学校の取り組みについては、教員の方々の努力により成果が上がっていると思われる。個別の学習習慣は生徒個人、家庭での取り組み方、保護者の意識の差にもよるとと思われる。宿題もそうだが、課題についての考え方も以前とは変化しているように思う。時代に即した対応を考えていくことも必要と考える。
生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が忙しくなっていると聞かすが、昔から指導に時間をかけてきた学校である。昔と比べて決して悪くなっているとは思えない。いわゆる「熱血先生」たる資質が希薄になっているといわれれば仕方がないかもしれないが、一方ではクラブ活動に熱心に取り組む、家庭訪問に飛び回っているなど、きめ細かな個別指導の実践、学習指導研究を惜しまない先生方の姿もある。こうしたことに取り組まない先生が増えたという意味なら問題だ。 ・登下校マナーについて、一部生徒の行動によって全体評価として見られる傾向にあるようだ。教員全員で生徒指導体制に取り組んで欲しい。見た目は大事だと思う。それが本校に対する評価となるのだから。 ・頭髪、服装指導は出来ている。挨拶はクラブの生徒たちを中心としてよく出来ている。
進路指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの企業でOBが活躍している。OBの力も借りて、もっと就職先企業との関係を深めてもらい、進路先の開拓にも積極的に進んでももらえれば生徒たちの進路の多様性にも対応できると思う。 ・各生徒の進路に対して、生徒と話し合い進学、就職を問わずよく指導されている。 ・学年毎の進路指導がまだ充分行われているとは言えないように聞いたが、どうなのか。1年から進路に対する指導を学科毎で計画的に進めてもらいたい。
特別教育活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動は活発に活動し、結果も出ている。継続して頑張って、結果に結びつけてもらいたい。 ・ボランティア活動は、直に人の喜びに触れることの出来る活動でもある。生徒会活動として、もっと広くボランティア活動を呼びかけ実行してもらいたい。聞くところによると、クラブ毎でボランティア活動を行っているという。全校的な取組に発展させられれば良いと思うが。 ・クラブ活動は活発であるが、女子生徒が参加できるクラブが少ないと聞く。また、男子生徒もクラブ活動に参加する機会が少なくなっていると聞く。学校教育の場としての部活動参加を望む。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の会議が多すぎて教育現場に支障が出ているように聞いている。会議は必要だろうが、校長はじめ各部局のリーダーの統率力を発揮することで、会議を減らすことも大事ではないか。その労力を教育の現場に回して欲しい。 ・理事者、教職員、事務職員、組合、学校関係者が一致団結して対処して頂きたい。 ・教職員に校外での研修機会をもっと奨励して、その経験を校内に生かして欲しい。 ・学校運営が機能していないように見受けられます。理事者と教員の意思疎通をもっと図ってもらいたい。 ・校内研修等に全教職員が参加し研修できていることは評価できる。 ・保護者会役員・委員との交流関係は良好である。その他の保護者に関心を持ってもらえるような関係づくりはもっと必要と思われる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備の充実は私学として求められるだろう。経済的な施策順位としては、なんとしても上位に置くべきだろう。 ・施設設備の老朽化への対策は、学園理事会においての早急の検討が必要と考えます。 ・他校でも施設設備の老朽化が進み、新校舎建築により新たなスタートに繋がっているように思う。本校も新たなスタートを切れるような、ソフト面、ハード面での改革を望む。